

事業番号	05 10 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	認知症施策総合推進事業	部局	健康福祉部	課・室	介護支援課				
		実施期間	S47 ~	E-mail	kaigo-shien@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	⑦健康寿命								
総合的に展開する重点政策	4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援	4-3 医療・介護提供体制の充実			4-4 生命・生活リスクの軽減				

1 現状と課題

・高齢化の進展に伴い、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、認知症の人は約700万人（65歳以上高齢者の約5人に1人）が認知症高齢者になると見込まれている。

・認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を進めることが求められる。

2 事業目的

医療・介護の連携による総合的な支援や、地域住民の理解・協力のもとで、認知症の人、及びその家族の意思が尊重され、できる限り住み慣れた自宅や地域で自分らしく安心して暮らせる社会を目指す。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①医療従事者向け認知症対応力向上研修の実施
認知症の人に対して本人主体の医療や看護等を提供するため、医療従事者向け研修会を開催。

②医療・福祉・介護の連携による総合的な施策の検討
認知症施策推進懇談会及び認知症疾患医療センター連携会議の実施。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	認知症対応力向上研修修了者数（看護職員）	人	427		505	↗	586	↗	700人	未達成	認知症の人に対して本人主体の医療や看護等を提供するため成果目標に設定（長野県高齢者プラン）

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	71,869	0	71,869	34,659	66,226	2.0
R3年度	0	68,273	0	68,273	33,017	57,374	2.0
R2年度	0	68,281	0	68,281	33,034	53,813	2.0

事業番号	05 10 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	認知症施策総合推進事業		部局	健康福祉部	課・室	介護支援課		

6 主な取組実績と成果

<p>①医療従事者向け認知症対応力向上研修の実施</p> <p>認知症の人に対して本人主体の医療や看護等を提供するため、医療従事者向け研修会を開催。コロナ禍においても、医療従事者の方が研修に参加できるようにオンライン研修とした。（看護職員認知症対応力向上研修修了者数 81人）</p> <p>②医療・福祉・介護の連携による総合的な施策の検討</p> <p>認知症施策全体について検討する認知症施策推進懇談会を1回開催し、医療・介護・福祉等の関係者から各市町村におけるチームオレンジの整備の必要性など、認知症施策についての意見を聴取した。また、認知症疾患医療センター連携会議を1回開催し、各認知症疾患医療センターにおける認知症診断・相談業務の課題等を共有し、センター同士の連携及びセンターの質の向上を図った。</p>

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	認知症対応力向上研修修了者数（看護職員）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
オンライン研修の実施により、令和5年度の目標値（700人）に向けて前年度からさらに研修修了者は増加したが、コロナ禍で研修が開催できなかった年度もあり、目標値達成には至らなかった。							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <p>認知症の人についても、地域包括ケアシステムの中で、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるために、各市町村における認知症の人やその家族を支えられるような体制の整備に対する支援が必要であるが、各市町村において支援体制の仕組みの一つであるチームオレンジの整備が進んでいない状況にある。</p> <p>また、医療従事者においても、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識について修得する必要がある。</p>
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <p>認知症の人やその家族の生活支援ニーズと認知症サポーターを繋ぐ仕組みであるチームオレンジの設置が進むように、市町村間での課題・事例共有の場の提供や、アドバイザーからの助言など、市町村の支援を行っていく。</p> <p>認知症の人に対して本人主体の医療や看護等を提供するため、認知症対応力向上研修を開催し医療従事者のさらなる認知症対応力の向上を図っていく。</p>

事業名	認知症施策総合推進事業	部局	健康福祉部	課・室	介護支援課
-----	--------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	認知症施策総合推進事業		53,813 千円	57,374 千円	66,226 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	認知症地域支援施策推進事業	直接	・認知症施策推進懇談会及び認知症疾患医療センター連携会議の開催 懇談会の開催：1回、連携会議の実施：1回		
2	認知症地域医療支援事業	直接	・病院勤務の医療従事者、看護職員向け認知症対応力向上研修の開催 ・病院以外の看護職員向け認知症対応力向上研修の開催 ・チームオレンジコーディネーター研修の開催 研修会の開催：各1回		
3	認知症地域医療支援事業	委託	・薬剤師向け認知症対応力向上研修の開催 ・認知症サポート医養成研修の開催 薬剤師向け研修会の開催：1回、サポート医養成者数：10人		
4	若年性認知症施策推進事業	委託	・若年性認知症支援コーディネーターの設置・関係者ネットワークの構築 ・支援関係者研修会の開催・個別電話相談対応、本人ミーティング、本人・家族支援プログラムの実施 委託先：（NPO）宅老所・グループホーム連絡会		
5	認知症疾患医療センター運営事業	補助金	・認知症疾患医療センターの運営費補助（11カ所） 補助件数：11件、補助額：61,397千円		
6	認知症予防県民運動推進事業	直接	・認知症の理解・予防に関する普及・啓発ために新聞広告掲載 年3回掲載（6/15、9/21、1/30）		